

◆ はじめに

『らくらく英単語マスター』をご利用いただき、誠にありがとうございます。

この学習ツールで、たくさん英単語を覚えて頂けるとうれしい限りです。

◆ 特長

・このソフトは、小学生から大学受験生までを対象にした英単語学習ツールです。

・Microsoft Excel (2003) で作成致しました。

Excel がインストールされているシステムがあれば、どなたでも利用することができます。

・収録単語（見出し語）数は、「3710 語」です。

※ 重複を除くと（例えば、『right』の「右」「正しい」「権利」など複数回出題されているものを 1 語として数えると）3219 語になります。

独自の調査により、収録単語を選出しました。また、例文に含まれている英単語の総数は、4300 語以上になります。

・学習方法は、表示された日本語に適合する英単語を入力して、正解を確認していきます。

（※類義語など、複数の英単語が思い浮かぶ問題もありますが、出来る限り単語が特定できるように注釈などを入れております。）

・モードには、「学習モード」「テストモード」「復習モード」の 3 種類があります。

・「学習モード」では、順番に英単語を確認していきます。

この時、知らない単語や間違っ覚えてしまっている単語があれば、「復習モード」に登録するかどうかを決めることができます。

・「テストモード」は、収録されている英単語がランダムに出題され、成績と所要時間が記録保存されます。

過去の学習履歴（学習モード・テストモードでの成績）で、連続して正解しているものは出題頻度が下がり、逆に連続して不正解している英単語は出題頻度が上がるようになっていきます。（つまり、苦手としている単語は頻繁に出題され、既に覚えている単語はあまり出題されないようになっております。したがって、覚えなければならない単語ほど、たくさん出題される仕組みになっています。）

なお、出題数は、各レベルによって予め決まっています。このテストモードでは、問題を印刷することができます。

・テストモード時に間違えた単語は、自動的に「復習モード」に登録されます。（既に登録されているものはそのままです。）

・「復習モード」を実行すると、登録された単語が順番に出題され、3 回連続して正解すると、登録から削除されます。

2 回続けて正解していても、3 回目に間違えてしまったら、もう一度最初から 3 回続けて正解しなければなりません。

・「学習モード」および「テストモード」で、連続して 5 回正解すると、『習得英単語』として登録されます。

・成績画面で、現在の学習状況や、過去のテスト結果、英単語の習得率を確認することができます。

難しい操作は特に必要としないので、まずは、手始めに「小学生コース」の「学習モード」か「テストモード」を選択して、[スタート]ボタンをクリックしてみてください。出題画面に切り替わり、学習をスタートさせることができます。

◆ 注意事項

収録英単語は、作者独自の調査により選定されたものですので、実際に学校等で学習している英単語と合致しない場合があります。また、例文に関しても、該当する学年で学習する英文法を考慮しておりますが、中には未修了の文法が使われているものもごございます。

本ソフトウェアは、Excel2002、2003、2007、および 2010 で動作確認を行っております。

また、Excel2002/2003 では、予め「音声読み上げ機能」をインストールしておく必要があります。

インストール方法は、次の通りです。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]を開く。
2. 一覧から「Microsoft Office ○○ ××」を選択。（※ ○○××には、Edition 名とバージョンが入ります。）
3. 変更ボタンを押す。
4. [セットアップ]ダイアログボックスが表示されるので、[機能の追加/削除]を選択し、[次へ]をクリック。
5. [アプリケーションごとにオプションを指定してインストール]にチェックを入れ、[次へ]をクリック。
6. [Microsoft Office]→[Microsoft Office Excel]→[読み上げ]→[マイコンピュータから実行]をクリックし、[更新]をクリック。
7. 表示されるメッセージに従ってインストールを完了させてください。

◆ ご利用規約／著作権

本ソフトは、無料配布しておりますが、ソフトウェアの知的所有権は、著作権者「JUKUペガサス宇佐教室」が有します。著作権者の権利を侵害する行為は、固くお断りいたします。ただし、このソフトウェアの複製・使用は、個人利用においてのみ、どなたでも自由に行うことができます。個人で使用する際に、ソフトウェアを修正することは差し支えありませんが、その場合でも、著作権表示は変更しないでください。修正を施していないソフトウェアについては、無償配布のみ自由に行うことができます。ただし、その場合においても、著作権表示は変更しないでください。修正を行ったソフトウェアを再配布することはご遠慮ください。また、修正の如何に関わらず、ソフトウェアを有償で配布することもご遠慮ください。

◆ 免責事項

JUKUペガサス宇佐教室（以下、当教室という）は、利用者の使用目的に対するソフトウェアの適合性の不一致、および、ソフトウェア使用による利用者の逸失利益、その他の損失については、一切の保証を致しません。利用者、または第三者に対して、本ソフトウェアの使用または使用不能に関連して生じた間接的損害、特別損害、偶発的損害、もしくは結果として生ずる損害（業務上の損害、利益の損失、事業の中断、その他を含む）について、たとえ当教室がそのような損害が生ずる可能性を認識していた場合であったとしても、一切の責任を負いません。この免責事項に承諾のない方は、本ソフトウェアを使用することができません。本ソフトウェアを利用された方は、この免責事項を承諾したものとみなします。

◆ 動作環境

OS: WindowsXP/Vista/7

Microsoft Office: Excel 2002/2003/2007/2010

上記の環境で動作確認をいたしました。

申し訳ありませんが、個人で作成した関係で、この他の環境下での動作確認は取れておりません。

※ パソコンの性能により、テンポよく解答することができない場合があります。

そのような時には、システムの物理メモリーを増設することが一番の改善策ですが、なかなかハードウェアのバージョンアップは困難だと思われるので、「仮想メモリーのサイズを増やす」、「ディスクのデフラグを実行する」などして、対処してください。

◆ 学習の進め方

特に制約はございません。ご自由にお使いいただければ幸いです。あくまでも参考として、本ソフトを作成するにあたり、「こんな感じで学習を進めていけば、効果が出る！」と作者が考えていたお勧めする学習の進め方は、次の通りです。

《原則：小学生コースから始めて、単語習得率が 80～95%（レベルにより各自で設定）を超えたら、次のレベルに挑戦する。》

1. まずは、学習モードで順番に英単語を覚えていきます。（初回は、ノートに書いていくことをお勧めします。）

2. 学習モードは最低でも 1 回は最初から最後まで通して確認しておいてください。

（例えば、小学生コースの場合は、収録語数が 160 ありますので、1 日 20 語ずつ確認していけば、8 日で完了します。

ちなみに、小学生コースの英単語をすべて習得している人(すみません、私自身なんですけど...)が、学習モードをテンポよく解答してみましたら、『8 分 4 9 秒』で 160 語を終了させることができました。）

この学習モードは、3 回程度、実施することをお勧めします。3 回行う場合には、次のように学習していくのがお勧めです。

- ・ 1 回目は、正解を確認しながらすべての単語をノートに書いていきます。（この時、復習モードには登録しません。）
- ・ 2 回目は、テストをする感覚で、問題を解きながら正解を確認します。（間違えても復習モードには登録しません。）
- ・ 3 回目は、2 回目同様、テストを行う感覚で問題を解いていき、間違えたら復習モードに登録していきます。

学習モードでは、所要時間の計測はしていないので、時間を気にせずに学習してください。

3. 学習モードが終了したら、復習モードを実行して、単語を復習してください。

復習モードでは、復習リストに登録されている単語が登録順に出題されます。同じ単語を 3 回続けて正解したら、復習リストから削除されます。正解しても不正解でも、次の問題に切り替わり、復習リストから削除されるまで繰り返し出題されます。

4. 復習モードをクリアしたら、テストモードに挑戦してください。

テストモードでは、登録されている単語がランダムに出題されます。出題頻度は連続正解数／連続不正解数によって変化します。正解数が多い単語は、出題頻度が下がり、不正解数が多い単語が出題頻度が上がります。

テストモードで出題される問題数は、

- ・ 小学生コース : 10 問
- ・ 中 1 ・ 中 2 コース : 20 問
- ・ 中 3 ・ 高 1 ・ 2 コース : 30 問
- ・ 大学入試コース : 50 問 となっております。

できるだけ早く習得率を上げたい場合は、1 日で実施するテストの回数を増やしてみてください。

連続 5 回正解すれば、その単語は「習得した」とみなされます。しかし、一度習得した単語でも、間違えてしまえば、習得リストから消去され、最初からやり直しとなり、再度 5 回連続正解しなければなりません。

また、テストモードの成績と所要時間は、成績画面に反映され、過去 100 回までの成績を保存するようになっています。

なお、成績画面に表示されている「テストモード正解率&所要時間」は過去 100 回に限らず、すべての結果が反映されます。

この学習履歴と成績はトップ画面の「学習履歴クリア」ボタンでリセットすることができます。

5. 毎日テストモードを実施していると、間違えた単語は復習リストにどんどん登録されてしまいます。

かなり溜まったと感じたら、復習モードを実行して、復習リストから消去するようにしてください。

6. このテストモードの繰り返しにより、正解数が上がっていけば、単語習得率も上がっていきます。

各自で設定した目標の習得率に達したら、次のレベル（中 1 コース）に挑戦してみてください。

上記の 1～6 を各レベルでそれぞれ実施していけば、相当な語彙力が身に付きます。

◆ 操作方法

《ファイルの起動》

通常のエクセルファイルを起動するのと同様に、『らくらく英単語マスター.xls』ファイルをダブルクリックして起動してください。（もちろん、エクセル自体を先に起動して、[ファイル]→[開く]で、本ソフトの『らくらく英単語マスター.xls』を選択しても構いません。）この時の注意事項としましては、ファイル起動時に、「マクロを有効」にすることです。

また、初回起動時には、「名前登録画面」が自動的に表示されるようになっております。

名前を登録される場合は、塾（学校）名とお名前を入力し、[登録]ボタンをクリックしてください。

登録したくない場合は、入力欄は空白のままにして、[登録]ボタンをクリックしてください。

登録が完了すると、メッセージが表示され、[ok]ボタンをクリックすると、トップ（メニュー）画面が表示されます。

《学習する時》

トップ（メニュー）画面で、『①レベル選択⇒②モード選択⇒③[スタート]ボタンをクリック』の順番に操作します。

上記の操作で、出題画面に切り替わり、学習がスタートします。

「学習モード」を選択した場合には、前回終了した単語の次の単語から開始されます。

「テストモード」では、ランダムに選ばれた問題が規定の問題数（上記参照）だけ出題されます。

「復習モード」は、復習リストに登録された単語がある場合に起動し、出題されます。

《学習中》

出題画面では、「意味）」に書かれた日本語に合う英単語を「英単語）」と書かれた入力欄に入力していきます。

単語を入力して[Enter]キーを押すと、正解が表示されます。正解だった場合には、さらに[Enter]キーを押すことで、次の問題に移りますが、不正解だった場合には、[次へ]ボタンをクリックしなければ次の問題に切り替わりません。

これは、正解・不正解にかかわらず、テンポ良く次々に問題を解いていくのではなく、不正解だった時には、きちんと答え合わせができるように配慮したためです。

各ボタンの説明：

[正解] ボタン	英単語の正解を確認するときに押してください。（この操作をすると、不正解とみなされます。）
[発音] ボタン	英単語の発音を確認するときに押してください。 発音表記指定は、「発音記号」と「カタカナ表記」のいずれかを選ぶことができます。 音声読み上げ機能を「ON」にしていると、発音を音で確認することもできます。 解答後は、音声読み上げ機能の設定にかかわらず、音声が出ます。
[例文] ボタン	出題されている英単語を使った例文（英文）を読み上げます。 解答する前に使用すると、例文を表示せずに読み上げます。
[<] [>] ボタン	学習モードの時、表示されている英単語の前後の問題を表示させる場合に使用します。
[次へ] ボタン	解答した後、次の問題へ移る場合に使用します。（※正解時には、[Enter]キーで代用できます。）
[終了] ボタン	問題の途中で終了させる場合に使用します。 「学習モード」「復習モード」の時にこのボタンを使用すると、次のスタート時には、終了時に表示されていた英単語からスタートすることになります。 「テストモード」の時にこのボタンを押すと、終了時点での成績が保存されます。
○発音記号	発音表記の指定を「発音記号」に設定します。
○カタカナ表記	発音表記の指定を「カタカナ表記」に設定します。
音声読み上げ機能	解答した際に、英単語を音声で読み上げるかどうかを指定します。 音声読み上げ機能を ON にしていると、解答した後の処理の関係で若干遅くなります。 テンポ良く問題を解きたい場合には、この機能を OFF にしておき、必要な時に [[発音] ボタンや、 [例文] ボタンを押して、音声を確認することをお勧めします。

画面表示のご説明：

- ・ 出題画面左上の「☆」印や「×」印は、これまでの連続正解数／連続不正解数を表しています。
たとえば「☆☆☆」となっていれば、「現在3回連続で正解している」ことを示します。
反対に「××」となっていれば、「2回連続で不正解」を表します。
初めて出題される問題では、何も表示されていません。
- ・ ☆印の右隣に、「《修》」の文字が表示されている場合は、現在出題中の英単語は「習得単語」であることを示します。
- ・ ☆または×印の右隣に「【復】」の文字が表示されている場合は、出題中の英単語が「復習リスト」に登録されていることを示します。
- ・ 学習状況表 現在表示されている英単語の「学習回数」「テスト回数」「連続正解数」「連続不正解数」が表示されます。
- ・ 実施しているレベルの習得率、習得数、収録単語数が表示されます。
- ・ 画面右上には、「現在正解中の単語数」が表示されます。選択されているレベルでの連続正解数が『1』以上の単語数です。

《終了時》

問題が終了した際には、トップ画面に戻ります。プログラムを終了させるには、エクセルファイルを閉じてください。
この時、オートコレクト機能を元の状態に戻し、学習履歴を保存するために、自動的に上書き保存するようにしています。
(※Excel2000以前のバージョンをお使いの場合は、「オートコレクト機能」の処理を行わないようにしています。)

《その他》

- ・ 成績を確認する時
トップ画面から[成績画面]ボタンをクリックしてください。成績画面が表示されます。
確認できる内容は、
各レベルの「学習モード進捗率」、「英単語習得率（現在の正解単語率）」、「テストモード正解率&所要時間」、
「復習モード登録数」と、「過去100回のテスト結果」です。
- ・ 過去100回のテスト結果のクリア
成績画面では、「過去100回のテスト結果」のみをクリアするボタンが用意されております。
- ・ 学習履歴・成績のクリア
すべての学習履歴および、テスト結果の削除は、トップ画面の[学習履歴クリア]ボタンを押してください。
- ・ 名前の再登録
トップ画面の[名前登録]ボタンで、塾（学校）名および、生徒氏名を登録することができます。
初回起動時に表示される設定画面が表示されます。

◆ 学習上の注意点

《発音記号について》

専用フォントを使わずに、標準の UNICODE で表記しているため、アクセント記号がずれているものがあります。

例えば、『出発する』の「depart」(dip'a:rt)では、「a」の位置にアクセントがあることを示しています。

(※注意：実際の発音記号では、「a」という表記ではありません。)

また、ご存じの通り、英単語の発音は、状況によって変化するものや話される地域によって異なるものがあります。

例えば、「read」(動)読む)の場合、現在形では「ri:d(リード)」、過去形では「red(レド)」になります。

この他にも、品詞によって発音や、アクセントが異なるものや、「live」(リブ：住む／ライブ：元気な)

など意味によって異なる場合もございます。

発音に不安のある方は、辞書で調べるなどして、各自で確認してください。

《発音のカタカナ表記について》

英単語をカタカナで表示するのは、そもそも無理があります。ただ、発音記号が読めない生徒さんが多いこともあり、

できるだけ英語の発音に近くなるように配慮致しましたが、限界があります。

また、アクセントの位置は、「'」(全角アポストロフィ)の前の語にあることを示しております。

(例：『出発する』の「depart」の場合、(ディパ'ート)と表示しており、「パ」を強く発音することを示しています。)

上記理由により、正しい発音は、英和辞典や、(音の出る)電子辞書などで確認することをお勧め致します。

※ 本ソフトでは、Windows の「音声読み上げ機能」を利用していますが、残念ながらこれもネイティブな発音ではありません。

◆ 機能上の注意点

《音声読み上げ機能について》

本ソフトは、Windows の機能である「音声合成機能」を利用しています。(※ Excel2002 以上でサポート)

～WindowsXP の場合～

[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]の順番にクリックしてください。

次に、「音声認識」をクリックし、音声認識のプロパティ画面の『音声合成』のタブをクリックします。

その設定画面で、《音声の選択》(※「Microsoft Sam」がお勧め)と《音声の速度》を変更することができます。

～WindowsVista の場合～

[スタート]→[コントロールパネル]→[コンピュータの簡単操作]→[音声認識オプション]の順番にクリックしてください。

次に[音声合成]をクリックし、音声認識のプロパティ画面の『音声合成』タブを開きます。

その設定画面で、《音声の選択》(※「Microsoft Anna」がお勧め)と《音声の速度》を変更することができます。

《オートコレクト機能について》 (※ Excel2002 以上でサポート)

エクセルでは、入力支援として「オートコレクト機能」があります。これは、入力ミスを減らすためのもので、例えば「sunday」と入力すると、自動的に「Sunday」と先頭文字を大文字にしてくれたり、「tomorow」と入力すると、「tomorrow」に正しく変換してくれる普段利用する際にはとても便利な機能なのですが、英単語を学習するこのソフトでは、あってはならない機能になります。そこで、エクセル起動時に、お使いのコンピュータのオートコレクト機能の設定内容を確認・保存し、学習中はこの機能を無効にするようにしています。さらに、設定を解除したままエクセルを終了させてしまうと、オートコレクト機能が無効になったままになるので、学習ツール終了時には、先に保存しておいた設定内容をシステム上に反映させて、元の状態に戻すようにしています。したがって、学習ツールが異常終了などして、オートコレクト機能が無効になったままになる場合が考えられますので、ご注意ください。

オートコレクトの設定内容は、

～エクセル(2003)の場合～

[ツール]→[オートコレクトのオプション]をクリックして、[オートコレクト]タブでご確認ください。

～エクセル(2007)の場合～

[Office ボタン]→[Excel のオプション]をクリックし、[文章校正]の[オートコレクトのオプション]で、ご確認ください。

◆ インストール／アンインストール

《インストール》

USB メモリーなどで直接お渡しした方へ

・特に指定がなかった場合には、トップフォルダに『rakutan』というフォルダを作り、その中に、「らくらく英単語マスター.xls」というファイルで保存しています。このファイルをパソコンにコピーしていただくだけでOKです。

(※ USBメモリーに保存したままの状態でのソフトを利用しますと、速度が遅くなります。)

ホームページなどからダウンロードされた方へ

・すでにこのファイルをご覧になられている方は、圧縮ファイルの解凍が済んでいる状態だと思いますので、このファイルと同じフォルダにある「らくらく英単語マスター.xls」というファイルをそのままお使いください。

《アンインストール》

レジストリなどは一切変更しておりません。

単なるエクセルファイルですので、「らくらく英単語マスター.xls」ファイルを削除してください。

◆ お問い合わせ先

JUKUペガサス宇佐教室

ホームページ：<http://www3.ocn.ne.jp/~usapega/>

E-mail：pegasus@goukaku.com

こちらは、片田舎の小さな学習塾で、私1人で運営しております。

大変申し訳ありませんが、お電話でのお問い合わせは十分な対応ができないため、ご遠慮願います。